



:~

目 次

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*~

1 ポートエッセイ —男女共同参画社会—

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

- 【北海道・室蘭港】練習船「青雲丸」でシップスクールを開催
(室蘭市港湾部港湾管理課)
- ～「海の日」のイベント「八甲田丸港フェスタ」が開催されました！！～
(東北地方整備局 青森港湾事務所)
- JICA集団研修を実施しました
(東北地方整備局 小名浜港湾事務所)
- 「海洋都市横浜うみ博2024」に参加
(関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課)
- 「四日市港まつり2024」にブース出展しました！
(中部地方整備局 四日市港湾事務所)
- 客船フェスタ2024が開催されました
(近畿地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)
- 「2024志布志みなとまつり」にてパネル展を実施
(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

3 お知らせ

- ◇イベント名: ザ・シンポジウムみなとin紋別
- ◇イベント名: 東北みなとフォトコンテスト2024
- ◇イベント名: 東北みなとフォトコン2023受賞作品展

*:

1 ポートエッセイ —男女共同参画社会—

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

*:

今年の夏、パリはオリンピックの開催で沸いた。先回の無観客で行われた東京オリンピックと違って変わってかやかな歓声をバックに選手は戦っていた。声援は選手にとって力を与えてくれる。最高のパフォーマンスを発揮できたに違いない。

さて、遡ること128年前1896年、ギリシャ・アテネで開催された第1回オリンピックでは、女性には門戸が開かれていなかった。1900年のパリ大会に初めて女性が参加し、その後2012年のイギリスのロンドン大会では全競技に女性が参加できるようになった。そして2021年の東京大会では女性選手の参加割合が約49%までになり、今回のパリ五輪では選手の男女同数を実現したようだ。

オリンピックのみならず女性の活躍が目覚ましい今日において、仕事柄様々な会議に出席する機会が多いが、女性の参加者が比較的少ない会議も多い。特に港湾関係の会議においては強く感じる。日本の港湾業界では、女性の進出が遅れていると指摘されている。女性の進出を促進するためにも、港湾業界においては女性技能労働者の育成、女性にとって働きやすい労働環境の整備が求められている。今後女性の力が加わることは、港湾労働がさらに多様で活気あるものとなり、業界全体の発展につながるに違いない。

働く人が性別により差別されることなく、かつ、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分に発揮できる雇用環境を整備する目的で制定された男女雇用機会均等法が制定されたのが1985年。その後、国はその目的達成のため様々な取り組みを行った結果、女性の就業率は増加し、役職者の割合も上昇傾向にあるものの、まだ世界的にみても低いレベルにある。

新潟市ではこれまで「新潟市男女共同参画推進条例」の理念のもと、4次にわたって「男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画の推進に取り組んできた。男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女平等社会の実現を目指している。

今後、人口減少・少子高齢化が解消されない限り、持続可能な地域社会を実現するには、性別にかかわらずその能力を十分に発揮できる社会が求められる。その環境づくりを官民一体となって進めていかなければならない。

*:

2 トピック

*:

●【北海道・室蘭港】 練習船「青雲丸」でシップスクールを開催

室蘭市港湾部港湾管理課

7月24日(水)、室蘭港に寄港中の練習船「青雲丸」で、市内の小学生を対象としたシップスクールが開催されました。

本取組は、次世代の海事産業を担う青少年への海事普及を目的に、独立行政法人海技教育機構が実施しており、当日は、37名の小学生が参加しました。子どもたちは、迷路のような船内を上下に移動しながら、実習生の居住区や機関室等を見学。船橋では、船長になりきって舵を回してみたり、いつもとは違う視点で自分たちの住む室蘭の街並みを見ることができ、感動していました。

その後は船の仕事を体験。ロープワークを行ったり、デッキ上では、実習生がタワシの代わりに椰子殻を使って掃除をしていることを知り、「ワッショイ！ワッショイ！」のかけ声に合わせて掃除を実施。子どもたちは、普段はできない貴重な体験を通して、船の仕事に興味を湧いたようでした。

また、同日、練習船の実習生を対象に、室蘭研修を開催しました。本研修は、実習生に本港臨海部の企業及び本港の認知を促し、卒業後の進路選択の一助となるよう、室蘭船主協会等の関係団体と連携して実施しているもので、市内の造船所や灯台等を巡りました。

今後も、本港の認知度向上及び海事産業の普及に向けた取組みを進めて参ります。



ロープワーク体験



椰子殻を使ったデッキ掃除



室蘭研修(造船所見学)

●～～「海の日」のイベント「八甲田丸港フェスタ」が開催されました！！～～

東北地方整備局 青森港湾事務所

7月14日(日)15日(月・祝)、「八甲田丸港フェスタ」が開催されました。

本イベントは、青森港の魅力を高めるとともに、歴史的に価値の高い青函連絡船「八甲田丸」を舞台として、港の賑わい創出を目的に港湾関係機関・団体が協力し、毎年「海の日」に合わせ2日間行われており、今年で19回目の開催となりました。

当事務所も毎年本イベントに事務所をあげて参加しています。今年は青森港の役割や特徴をPRするパネル展と「液状化発生装置」による液状化の発生メカニズムの疑似体験を実施しました。

開催期間中は天候にも恵まれ、名物イベントの「Mr.防波堤コンテスト」をはじめ各イベントや出店ブースは大変賑わいました。

青函連絡船「八甲田丸」は、昭和39年8月12日(1964年)の初就航から60周年(還暦)を迎えました。また、来年の2025年は、青森港開港400周年、2026年は青森まちづくり400周年と記念すべき節目が続きます。これからも先人たちの歴史を紡ぎ、「みなと」の発展と魅力発信に努めて参ります。



八甲田丸と当事務所パネル展ブース



液状化発生装置による疑似体験



消防ポンプから放水した水圧にどの位耐えられるかを競う名物企画「Mr.防波堤コンテスト」

●【JICA集団研修を実施しました】

東北地方整備局 小名浜港湾事務所

政府の海外技術協力の一環として、JICAの招きで来日している研修員の皆さんが、8月2日から5日までの4日間、小名浜港の見学に来られました。

本研修では、座学や港湾見学のほか、市民交流を目的に夏祭りなどの地域行事にも例年参加しており、親水空間「アクアマリンパーク」で開催されたいわき花火大会では、音楽に合わせて夜空を彩る花火を鑑賞し、日本の夏を肌で感じていただきました。

本研修で学んだことが帰国後に活かされるとともに、小名浜港での体験が良い思い出になることを期待しております。



当所での受講風景



小名浜港東港地区の見学



いわきおどり小名浜大会に参加



いわき花火大会

●「海洋都市横浜うみ博2024」に参加

関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

8月3日(土)4日(日)、海洋都市横浜うみ協議会主催の「海洋都市横浜うみ博2024」が開催されました。海洋環境・技術課では、メイン会場である横浜市役所アトリウムにてブース出展、及びサブ会場となる大さん橋にて東京湾口航路事務所の清掃兼油回収船「べいくりん」船内見学会(3日(土)のみ)を行い海洋環境整備事業についてなどのPRを実施しました。

「うみ博」は、展示ブースや、船の展示・見学、ステージプログラム、ワークショップなどにより、子供達に多様な海の魅力を体験する機会を提供するもので、今年は2日間の来場者数が約22,500人とうみ博史上最多を記録し、大きな賑わいをみせておりました。

メイン会場の当局ブースでは、先代「べいくりん」の模型がお子さん達の興味を大きく惹いておりました。また、夏休みの宿題の材料にと当局の環境への取り組みを紹介したパネルの写真を撮影する姿もみられました。

サブ会場では、「べいくりん」を大さん橋ふ頭E号岸壁に着岸し、事務所職員とともに船内(ブリッジ、ごみ回収装置、油回収装置)の見学を実施し、約530名もの方に見学頂きました。

2日間を通じ、東京湾での「べいくりん」の活動や海洋環境整備事業についての理解を深めていただきました。



「べいくりん」見学会の風景



当局ブースの風景

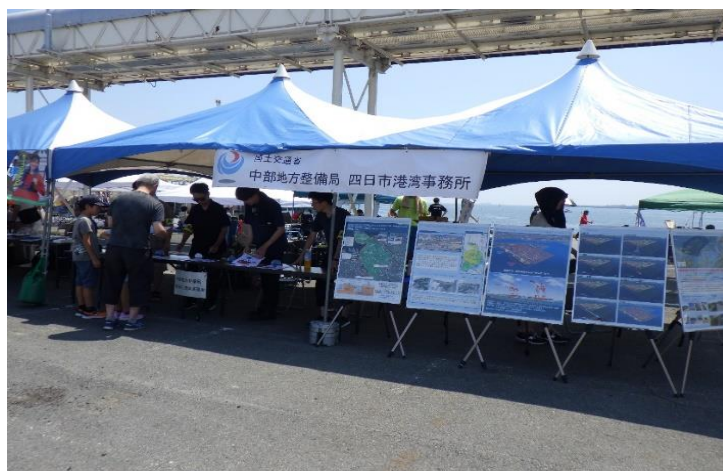
●「四日市港まつり 2024」にブース出展しました！

中部地方整備局 四日市港湾事務所

令和6年8月4日(日)四日市港四日市地区において、「四日市港まつり」が開催されました。このイベントは、例年、開港記念日である8月4日に最も近い8月の第一日曜日に開催されています。当日は天候にも恵まれ、大変暑い日となりましたが、約10,900人の方々が来場され賑わいを見せました。

当事務所のブースでは、パネル展示を行い、四日市港の事業概要や当事務所の取り組み等を紹介しました。併せて、子供向けの港の学習教材を配布し、船と港の役割について周知を行いました。

地域の方々に港湾・海岸整備事業の取り組みをより身近に感じていただけるよう、当事務所は引き続き、広報活動を続けてまいります。



事務所ブース



パネル展示



資料配布

●客船フェスタ2024が開催されました

近畿地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

令和6年8月21日(水)、神戸ポートターミナルで神戸市客船誘致協議会主催による「客船フェスタ2024」が開催されました。

「客船フェスタ」は市民参加型のイベントとして毎年開催されており、『クルーズ』や『瀬戸内海』などのPRブース、ステージでのPRイベントやクイズイベント、ワークショップによる体験イベント、キッチンカーの出店などが行われました。また、今年は「クルーズdeツナグ・プロジェクト」の取組の一環として北陸復興を応援するため、石川県の観光や金沢港を紹介するブースや北陸の魅力をPRする動画放映も行われ、ブースを訪れた方が金沢港発着のクルーズや金沢港から市内観光へのアクセスに関する質問をされるなど、関心の高さを感じました。

当日はポートターミナルにクルーズ船『セレブリティ・ミレニアム』が着岸し「客船フェスタ」に花を添えており、「客船フェスタ」を通じクルーズや海の魅力が多くの方に伝わったと思います。



賑わう金沢港ブース



ステージでのクルーズ船社によるPR

●「2024志布志みなとまつり」にてパネル展を実施

九州地方整備局 志布志港湾事務所

令和6年7月21日(日)に「2024志布志みなとまつり」が開催されました。志布志みなとまつりは鹿児島県志布志市で毎年夏に開催される人気イベントです。当日は地元飲食店等による屋台村やダンス等の演芸が開催され最後には約1万発の花火が打ち上げられました。

国土交通省 九州地方整備局 志布志港湾事務所では、マリン館(サンポートしぶシアピア)においてパネル展示を実施しました。

志布志港に関するパネルの展示や志布志幼稚園の園児が描いてくれた志武士ししまるの塗り絵の展示、志布志港の今後の将来像に関するアンケート調査も実施しました。また、熱中症対策として建設業の方々による塩飴等の配布、志武士ししまるシールの配布等が行われました。

アンケートでは「志布志港に公園を作るとしたら？」というテーマで調査を行い、幅広い年代の方々からご意見をいただいた結果、10項目すべてに多くのシールが貼られていました。

今後も多くの方々に志布志港に興味を持っていただけるよう、イベント等を通じて志布志港のPRを行っていきます。



志布志港に関するパネル展示

志布志幼稚園生による塗り絵

シール形式のアンケート調査

建設業の方々による塩飴等の配布

*:

3 お知らせ(みなとのイベント情報)

*:

◇イベント名:ザ・シンポジウムみなとin紋別

【開催日時】 令和6年9月26日(木) 15:00~17:30

【場 所】 紋別市文化会館(紋別市幸町3丁目1番8号)

【概 要】 「ザ・シンポジウムみなと」は北海道港湾の重要性と必要性を理解してもらうことを目的に開催しており、今年度で32回目。

本シンポジウムでは、「紋別港の将来を考える」を主題として、紋別港を核とした研究と観光による交流人口増加の取組をテーマとして議論します。

さらに、北海道の港湾を紹介する「みなとパネル展」を同時開催し、シンポジウムを盛り上げます。

【主 催】 「ザ・シンポジウムみなと」実行委員会(北海道開発局 等)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

港湾空港部 港湾計画課 港湾企画官 柴田 裕基 (内線5612)

港湾空港部 港湾計画課 上席専門官 大沢 佳宏 (内線5615)

【U R L】 <https://cpd.tc-entry.net/>



◇イベント名:東北みなとフォトコンテスト2024

【開催日時】 令和6年7月1日(月)~令和6年10月31日(木)

【場 所】 東北のみなとオアシス

【概 要】 東北みなとオアシス19ヶ所各施設周辺エリアの風景や船・働く人・イベント・賑わいなど、みなとの魅力が伝わる写真を対象としたフォトコンテストを開催

【問合せ先】 大間町役場 産業振興課 TEL 0175-37-2537

青森港湾事務所 企画調整課 TEL 017-775-1402

【U R L】 <https://www.pa.thr.mlit.go.jp/minato-oasis/999/20240612/20240612130722.html>



